

子どもと親が共に育ち合う家庭共育

わが家の結いタイム

～ 家族のふれあいのために～

家庭は全ての教育の出発点です。子どもにとって「家庭」は安らぎのある楽しい場所であり、社会へ巣立っていくために欠かせない場所です。

飯田市では家族のふれあいのひと時を「わが家の結いタイム」と名付け推進しています。まずは、「あいさつ」「会話」「お手伝い」「読書」の身近な4つの取組みから始めてみませんか。

あいさつ

あいさつは人と人とのより良い関係を作るための第一歩です。

“おはよう” “いただきます” “ありがとう” “ごめんなさい” まずは家族の中で自分からあいさつする習慣をつけましょう。

会話

SNSばかりではなく、お互いの顔を見ながら心と心、言葉と言葉で会話をしましょう。食事の時間、入浴の時間、送迎の車の中で、親子のふれあいのひと時を楽しみましょう。

地域



家庭

行政

企業

学校

お手伝い

食事の準備や片づけ、掃除などのやり方を親から子に伝える時間は、そのまま家族のふれあいの時間になります。「お手伝いありがとう」の感謝の気持ちを伝えることも大切です。

読書

家族で同じ本を読んだり、読んだ本を紹介し合ったり、料理の本などを読んで一緒に作ったり、家族で一緒に図書館や書店に行くこともおすすめです。

各ご家庭で、できることから始めてみましょう！



他のご家庭の取組
(三行詩コンクール入選作品)



イベント情報はこちら
(結いなびIIDA)

